

監事監査報告書

—平成19年度事業—

平成20年 7 月

独立行政法人住宅金融支援機構

独立行政法人通則法（平成11年7月16日法律第103号）第19条第4項に基づき、平成19年4月1日から平成20年3月31日までの平成19年度の業務に関して監査を実施したので、次のとおり報告する。

平成20年7月29日

独立行政法人住宅金融支援機構

監事 野口 隆也

監事 山田 孝夫

監事 岩也千賀彦

I 決算監査

1 監査対象

平成19年度決算に係る事項

2 監査実施期間

平成19年7月～平成20年6月

3 監査の方針

財務諸表等の監査においては、執行部門から報告を受けて重点的な事項を監査するとともに、職業的専門家である会計監査人が行う監査の方法及び結果の相当性を評価した上でその監査結果を活用する。

4 監査の手法及び実施時期

(1) 役員会における確認

平成19年7月24日（開始時貸借対照表（案））、同年10月23日（平成19年度決算見込報告（既往債権管理勘定）、同年11月20日（勘定間融通の実施（案）、平成19年度決算見込報告（証券化支援勘定、住宅融資保険勘定、財形住宅資金勘定及び住宅資金等融通勘定））、平成20年2月20日（平成19年度決算見込報告（全勘定））、同年5月20日（平成19年度決算に係る特定関連会社及びセグメント情報の開示等（案））、同年6月10日（平成19年度期末の貸付債権等に係る自己査定結果）、同年6月17日（平成19年度決算中間報告）及び同年6月27日（平成19年度決算）

(2) 監事の決算担当部署への個別ヒアリング及び決算関係書類の確認

① 個別ヒアリング

平成20年5月22日（審査部）、同年5月27日（財務企画部と会計監査人の打合せに立会い）、同年5月28日（債権管理部・リスク統括部）、同年6月4日（総務人事部）、同年6月13日（財務企画部・経営企画部）及び同年6月26日（財務企画部）

② 決算関係書類の確認

平成20年5月23日～同年6月26日

(3) 会計監査人とのディスカッション、個別ヒアリング及び監査結果報告

① ディスカッション

平成19年10月5日、同年12月19日及び平成20年4月3日

② 個別ヒアリング

平成20年4月17日、同年5月15日、同年6月13日及び同年6月19日

③ 監査結果報告

平成20年6月26日

5 監査意見書

(1) 提出日

平成20年6月26日

(2) 内容

次のとおり。

独立行政法人住宅金融支援機構

理事長 島田 精一 殿

監査意見書

私たち監事は、独立行政法人通則法第19条第4項の規定に基づき、独立行政法人住宅金融支援機構（以下単に「機構」という。）の平成19年4月1日から平成20年3月31日までの平成19年度における事業報告書、財務諸表（法人単位及び勘定別の貸借対照表、法人単位及び勘定別の損益計算書、法人単位及び勘定別のキャッシュ・フロー計算書、勘定別の利益の処分又は損失の処理に関する書類（案）、法人単位及び勘定別の行政サービス実施コスト計算書及び法人単位及び勘定別の附属明細書をいう。以下同じ。）及び決算報告書について、監査を実施した。

その結果を次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

役員会その他重要な会議に出席するほか、執行に携わる役員等から内部統制の状

況及び事業の報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧した。

また、決算担当部署から事業報告書、財務諸表及び決算報告書について報告及び説明を受け、並びに会計監査人から監査の方法及び結果について報告及び説明を受け、検討を加えた。

2 監査の結果

(1) 事業報告書は、機構の事業運営の状況を正しく表示しているものと認める。

なお、執行に携わる役員の職務の執行に関し、不正な行為又は法令若しくは独立行政法人住宅金融支援機構業務方法書に違反する重大な事実は認められない。

(2) 財務諸表（勘定別の利益の処分又は損失の処理に関する書類（案）を除く。）は、「独立行政法人会計基準」及び「独立行政法人会計基準注解」（平成19年11月19日公表）に準拠して作成されており、機構の平成20年3月31日現在の財政状態並びに平成19年度の運営状況、キャッシュ・フローの状況及び行政サービス実施コストの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

勘定別の利益の処分又は損失の処理に関する書類（案）は、法令に適合しているものと認める。

なお、監査を実施した範囲においては、財務諸表の重要な虚偽をもたらす不正及び誤謬並びに違法行為の存在は認められない。

(3) 決算報告書は、機構理事長による平成19年度の予算の区分に従って決算の状況を正しく表示しているものと認める。

(4) 会計監査人であるあずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認める。

平成20年6月26日

独立行政法人住宅金融支援機構

監事 野口 隆也

監事 山田 孝夫

監事 岩也千賀彦

II 業務監査

1 被監査部署及び実施期間

被監査部署	実施期間
本店監査	
本店各部室（H18年度期末決算監査と同時実施）	平成19年4月25日～6月4日
各理事との意見交換	〃 5月28日～29日

理事長、副理事長及び理事長代理との意見交換	〃 6月4日
支店監査	
首都圏支店	〃 7月11日～13日
北関東支店	〃 7月19日～20日
北海道支店	〃 7月26日～27日
九州支店	〃 8月2日～3日
南九州支店	〃 9月20日～21日
東海支店	〃 9月27日～28日
本店監査（中間）	
本店各部室	〃 9月10日～11月5日
各理事との意見交換	〃 10月19日～22日
理事長、副理事長及び理事長代理との意見交換	〃 11月5日
支店監査	
北陸支店	〃 11月8日～9日
近畿支店	〃 11月15日～16日
四国支店	〃 11月21日～22日
東北支店	平成20年2月7日～8日
中国支店	〃 2月14日～15日
本店監査（総括）	
本店各部室	〃 2月18日～3月17日
各理事との意見交換	〃 3月4日～7日
理事長、副理事長及び理事長代理との意見交換	〃 3月14日

2 監査テーマ

(1) コーポレートガバナンスの態勢整備・運用状況

【監査の着眼点】

機構の「コーポレートガバナンス」の態勢整備・運用状況が十分であるか。

(2) 本・支店における組織・業務運営

【監査の着眼点】

中期計画、アクションプラン等に基づく業務運営について、本・支店の各部署において目標達成に向けて、P-D-C-Aサイクルによるマネジメントサイクルが十分機能し、真に有効な方策がタイムリーに実施されているか。特に、C-Aの深掘りが図られているか。

3 監査の手法

- 業務の執行状況等に関する本店各部室長及び各支店長の「自己評価シート」等

に基づく言明の監査

- 本店各部室及び各支店の実地監査における事業の執行状況のヒアリング、資料等の閲覧
- 内部統制の状況その他事業執行に関する役員との意見交換
- 役員会等重要な会議への出席、重要な決裁文書等の閲覧、必要と認めた事項に関する関係各部署の資料の閲覧、説明聴取

4 監査結果

(1) コーポレートガバナンスの整備・運用状況

- ① 経営理念・経営方針、コンプライアンスの徹底・浸透状況に関しては、「内部統制方針」の策定、各事業の中期的位置付けの検討・精査を進めるとともに、CS推進活動、研修等による「お客様第一」の意識の徹底に取り組んできており、評価できる。

一方、組織の戦略・プロフィット部門とコスト部門の区分による経営資源の再配分やアウトソーシングの実施、また、第三者機関による職員へのモラルサーベイの早期実施及びその結果の組織運営や業務運営への活用については、早期に取り組んでいくことが必要である。

- ② 機構の事業運営に関わる各種リスク管理態勢、統合的なリスク管理の状況に関しては、各種リスクの評価をはじめとした各部署におけるリスク管理や専門能力向上の取組は着実に成果を上げており、評価できる。

一方、これらの取組の成果に基づき、経営層が、重要リスクの特定をトップダウンで行い個別リスクの認識・評価・対応を横断的に実施していくことを通して、迅速・的確に経営判断を行っていくことが重要である。

また、委託先を含めた個人情報漏洩は、機構の信用失墜に繋がりがねないコンプライアンス上の重大な問題である。詳細かつ的確な要因分析、有効な再発防止策の策定及び管理態勢の見直しにより、この課題解決への取組を強化していくことが必要である。

- ③ 役員会、経営会議その他委員会等における審議状況、意思決定プロセスの状況に関しては、役員会運営における付議事項の明確化、議事結果の明確化等が着実に進められており、支店組織の見直しではスピーディな意思決定と実行が見られた。

引き続き、他の諸課題についても、スピーディな意思決定と実行が望まれる。

また、コーポレートガバナンスは、外目の目（国民、顧客、市場等）から見て、理解され納得されるよう運用していく必要がある。

(2) 本・支店における組織・業務運営

- ① 証券化支援事業に関しては、「支店担当制」による支店営業支援、営業戦略

や営業戦術の効果分析、商品性改善等徐々に成果の上がる取組がなされており、中でも、ビジネスパートナーの重点化や中小工務店向け営業の充実は、評価できる。

一方、営業戦略や商品性の効果分析の深掘り、商品開発・商品性改善の不断の実行、営業支援システムの充実等は、引き続き取り組むべき課題である。

- ② 債権管理業務に関しては、本・支店、サービサーとの連携の下、円滑にサービサー委託を進めたことは評価できる。

一方、金融機関における受託部門の弱体化、サービサー活用の進展等も踏まえたとき、債権管理業務のグランドデザインを早急に策定し、実行していくことが必要である。

- ③ 賃貸住宅融資に関しては、年度目標に対する実績値は概ね順調に推移し、評価できる。ユーザーニーズにマッチした制度改善への取組も行われた。

一方、保証機関の財務状況等を的確に把握し、機構としての対応方針を明確にすることが必要である。

- ④ 内外の状況変化に対応しスピーディな意思決定を可能にするため、各部署では様々な取組を行っている。

それらの取組の有効性を更に高めるため、営業、債権管理をはじめとした各現場の声を迅速に経営層にフィードバックし、経営判断に反映するシステムの構築が必要である。

- ⑤ 機構発足後1年、経営層は改めて、機構の役割と機能を確認し、職員へ訴求することが必要である。

あわせて、事業の着実な執行に向けて、戦略的ノウハウの構築が重要である。

Ⅲ 独立行政法人整理合理化計画に定められた監査

独立行政法人整理合理化計画（平成19年12月24日閣議決定）において、次のとおり、監事による監査が定められた。

○ 随意契約の見直し

随意契約見直し計画の実施状況を含む入札及び契約の適正な実施について、監事及び会計監査人による監査、評価委員会による事後評価において、それぞれ適切にチェックする。

○ 保有資産の見直し

保有資産の見直し状況については、監事による監査、評価委員会による事後評価において、それぞれ適切にチェックする。

○ 給与水準の適正化等

給与水準に関して、十分国民の理解が得られる説明がなされているか等の観点から、監事による監査、評価委員会による事後評価において、それぞれ厳格にチェックする。

○ 関連法人等との人・資金の流れの在り方

随意契約の適正化を含めた入札・契約の状況、情報開示の状況について、監事及び会計監査人による監査で厳格にチェックするとともに、評価委員会において事後評価を行う。

1 随意契約の見直し

平成20年1月以降、契約締結担当部署から、一定の要件に該当する随意契約案件の決議書等を提出させ、監査している。

平成20年3月末までの被監査案件25件は、すべて適正な随意契約が締結されているものと判断した。

また、機構全体の随意契約見直し計画については、平成20年5月27日に役員会において全体の進捗状況の報告を受けるとともに、同年6月20日に財務企画部から説明を受け個別ヒアリングを実施した。

当該随意契約見直し計画は、着実に進捗しているものと判断した。

平成20年度においても、引き続き適時に、個別の随意契約案件及び当該随意契約見直し計画の進捗状況を監査していく。

2 保有資産の見直し

3件の宿舍（独立行政法人整理合理化計画において、平成19年度中に処分するとされた宿舍をいう。）については、決裁文書及び売買契約書により、年度中の売却を確認した。

また、57件の宿舍（独立行政法人整理合理化計画において、平成19年度中に宿舍整理計画を策定し、平成20年度以降、計画に基づき売却するとされた宿舍をいう。）については、決裁文書により、宿舍整理計画の策定を確認した。

当該宿舍整理計画には、基本方針、目標及び期限、処分対象宿舍等が定められており、適正なものと判断した。

更に、公庫総合運動場（独立行政法人整理合理化計画において、株式会社日本政策金融公庫が設立される平成20年10月に向け、共有他法人との協議を行い、処分について検討するとされた公庫総合運動場をいう。）については、共有他法人と協議を進めていることを確認した。

3 給与水準の適正化等

役員の報酬等及び職員の給与の水準の適正化等については、平成20年6月4日及び同月20日に総務人事部から説明を受け、個別ヒアリングを実施した。

平成19年度における当該水準の適正化については、独立行政法人通則法第30条第1項の規定により財務大臣及び国土交通大臣の認可を受けた中期計画に定めるところにより、所定の削減を着実に進めているものと判断した。

平成19年度における当該水準の公表方法等については、総務大臣の定めるところに従っており、適正なものとして判断した。

4 関連法人等との人・資金の流れの在り方

随意契約の適正化を含めた入札・契約の状況については、平成20年1月以降、上記1の監査の中で併せて監査している。

平成20年3月末までの被監査案件である関連法人随意契約案件5件は、すべて適正な随意契約が締結されているものと判断した。

また、情報開示の状況については、当該随意契約案件5件はすべて機構ホームページで公表しており、適正に処理されているものと判断した。

平成20年度においても、これらの監査を継続している。

以上